

令和6年度

# 地域共生社会の実現に向けて ～重層的支援体制整備を中心に～

人と人、人と社会がつながり、誰もが生きがいや役割を持って、助け合いながら暮らせる包摂的な共生社会づくりが求められています。

地域共生社会の実現に向けて、「重層的支援体制整備事業」を中心に、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援、これら3つの支援を一体的に実施していくための事業デザインの考え方を講義や演習を通じて学びます。

## 開催要領

日 程

令和6年6月25日(火)～6月28日(金) (4日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

原則として、重層的支援体制整備事業への移行準備・検討中の地域福祉を担当する職員  
4日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。  
※行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。)。  
また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

募集人数

50人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。  
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

14,700円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食3回、昼食3回、夕食3回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年5月13日(月)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

6月  
25日(火)

11:00~

**入寮受付・昼食**

12:30~

**開講・オリエンテーション**

13:00~14:30

**講義 重層的支援体制整備事業について**

厚生労働省社会・援護局地域福祉課地域共生社会推進室 支援推進官 **犬丸 智則** 氏

「重層的支援体制整備事業」について交付金も含めた事業概要や、全国の事業実施状況から見てきた課題、展望などをお話いただきます。

14:45~17:15

**演習 超高齢社会体験ゲーム「コミュニティコーピング」(体験・ふりかえり)**

一般社団法人コレカラ・サポート 代表理事 **千葉 晃一** 氏

理事 **影山 貴大** 氏 理事 **中土 翔太** 氏

コミュニティコーピング認定ファシリテーターの皆様

人と地域資源をつなげることで「社会的孤立」を解消する協力型ゲームを体験します。ゲームの体験とふりかえりにより、どのような地域をつくっていききたいかを考えます。

17:45~

**交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

**講義 既存制度事業の一体化・横断化の推進~市内連携・多機関協働に向けて~**

関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志** 氏

地域住民の複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築していくためには、既存制度の所管課や関係機関との連携・協働が必要となります。分野を超えて連携・協働していくための互いの理解の進め方や合意形成のポイントなどを学びます。

13:00~14:00

**事例紹介① 「共生福祉社会」の実現を目指す伊丹市の取組みについて**

兵庫県伊丹市健康福祉部共生福祉社会推進担当 主幹 **丸山 孝興** 氏

コーディネーター:関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志** 氏

伊丹市では、平成15年度から「共生福祉社会の実現」を理念として地域福祉の仕組みづくりを進めてきました。重層的支援体制整備に向けた取組みでは、伊丹市社会福祉協議会とともに築いてきた地域資源を活用しつつ、3つの支援を一体的に行いながら構築されている新たな支援体制一つつながりや活躍の場を生む新しい支援などを紹介していただきます。

14:15~15:15

**事例紹介② 「高島市地域生活つむぎあいプロジェクト」とこれからの展開**

滋賀県高島市健康福祉部社会福祉課くらし連携支援室 室長 **清水 潤平** 氏

コーディネーター:関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志** 氏

高島市では、平成27年度から実務者層のネットワークである市内連携会議を設置し、単独部署では応えきれない問題に対して、連携するとともに新しい施策・事業を開発してきました。重層的支援体制整備実施後も進められた市内連携のさらなる強化や、重層事業を活かした様々なプロジェクトなどを紹介していただきます。

15:30~17:30

**質疑・意見交換**

コーディネーター:関西学院大学人間福祉学部 教授 **藤井 博志** 氏

伊丹市・高島市の取組みに対しての質疑応答を行った後、班に分かれて意見交換を行います。講義や事例紹介の内容を踏まえ、各地域の取組みや地域課題を共有します。※事例紹介講師2名にもご参加いただき、アドバイス等をいただきます。

9:25~12:00

**講義 重層的「地域づくり」~地域資源を活かす交流・場づくり~**

東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授 **加山 弾** 氏

広く地域住民を対象とする地域活動に向けての環境整備のために、地域資源の考え方から、多様な場や居場所づくりの他、様々な活動が地域で生まれやすくなるような働きかけや更なる展開を生む仕掛けづくりなど、各地の取組み事例も交えながら学びます。また、相談・参加・地域づくりの3つの支援相互の連携についても考察します。

13:00~17:00

**講義 重層的「地域づくり」~地域資源を活かす交流・場づくり~**

東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授 **加山 弾** 氏

グループに分かれ、それぞれの自治体が持っている地域資源を用いて、多様な地域活動が生まれやすい環境づくりを考えます。

9:00~11:00

**講義 地域共生社会の実現に向けて**

日本福祉大学 学長 **原田 正樹** 氏

本研修のまとめとして、地域共生社会の実現が求められている背景や、目指すべき社会や相互に支え合う地域のあり様などについてご講義いただきます。

11:15~12:00

**演習 ふりかえり(ワールドカフェ)**

4日間の研修をワールドカフェ方式でふりかえり、これから取り組んでいきたいことなどを受講者同士で共有します。

12:00~12:30

**ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和6年

6月  
26日(水)

令和6年

6月  
27日(木)

令和6年

6月  
28日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。